

## 令和7年度 アンケートの結果と分析

12月に実施しましたアンケート調査へのご協力ありがとうございました。

2月20日（金）実施の第3回学校運営協議会の中で、その結果につきまして委員の皆様と分析・検討を行いました。アンケート結果から見た傾向や特徴は下記のとおりです。委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、生かしていきたいと思っております。

アンケート結果の詳細につきましても、別紙で掲載します。よろしくお願いたします。

### ◎ 児童への質問で「満足できる」と認められる主な項目

・「学校の行事は楽しく、積極的に参加している」	⇒90.0%
・「授業では、友達の意見や感想をよく聞くようにしている」	⇒91.3%
・「自分が困ったり悩んだりしたときに、相談できる友達がいる」	⇒89.3%
・「学校へ行くことが楽しい」	⇒84.7%
・「道徳の時間などを通して、命や仲間の大切さを学ぶことができる」	⇒92.0%

昨年度にはなかった「満足できる」が90%を超える項目も出てきました。1年～4年は1学級で児童数は決して多くありませんが、多くの子どもたちがよい友達関係を築き、縦割り活動等を通して、学校生活を楽しむことができます。教職員は今後も児童一人一人に目を向け、寄り添いながら、成長を支えていきたいと考えています。なお、上記の5項目はすべて昨年度よりも高い数値を得ており、坂崎小がよりよい方向に向かっているのではないかと感じさせてくれます。

### ● 児童への質問で「改善を要する」と思われる主な項目

・「大きな声であいさつや返事ができる」	⇒73.3%
・「進んで自分の意見や感想などを発表している」	⇒50.6%
・「自分が困ったり悩んだりしたときに、相談できる先生がいる」	⇒72.0%

「大きな声であいさつや返事ができる」の回答は、昨年度70%から微増でした。代表委員会を中心とした子どもたち同士の呼びかけも熱心に行われており、3学期には各国のあいさつを紹介しながら、楽しい雰囲気の中でのあいさつ運動も進められました。あいさつへの意識を高め、学校全体が活気に満ち溢れる「声が響きわたる坂崎小学校」を引き続き目指していきます。

「進んで自分の意見や感想などを発表している」は、53%からの微減で、毎年50%台を推移している状況です。「わくわくタイム」では、気軽に自分の思いを伝え合う活動がどのクラスでも毎週行われています。表現する力の育成に努めていきます。

「自分が困ったり悩んだりしたときに、相談できる先生がいる」は、65%から8%の増加でした。本校では、全職員が子どもたちとかかわり、育てていくことを常に心がけています。子どもたちが心を開いて教職員に接することができる良好な関係づくりに努めていきます。

※ 分析の数値は、A「あてはまる」とB「だいたいあてはまる」を肯定的な評価ととらえ、それをもとに分析・検討を行いました。

また、A「あてはまる」+B「だいたいあてはまる」が

80%を上回るものは満足できる = ◎

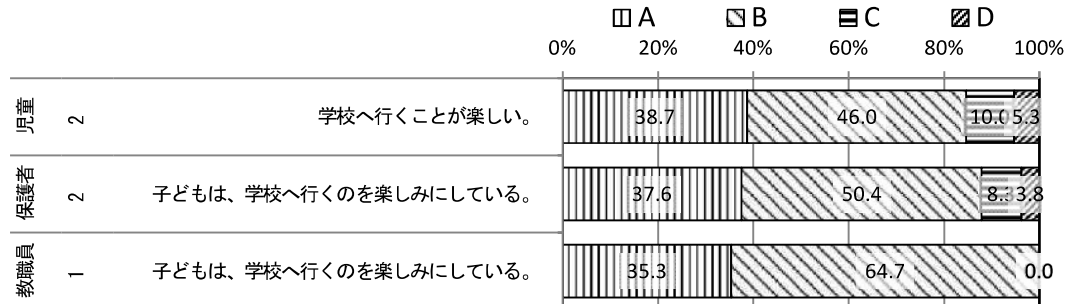
70%を下回るものは改善を要する = ● と考えました。

# 学校教育活動の評価比較

A=あてはまる(そう思う) B=だいたいあてはまる(だいたいそう思う)  
C=あまりあてはまらない(あまりそう思わない) D=あてはまらない(そう思わない)

類	No	診断内容	A	B	C	D
児童	2	学校へ行くことが楽しい。	38.7	46.0	10.0	5.3
保護者	2	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	37.6	50.4	8.3	3.8
教職員	1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	35.3	64.7	0.0	0.0

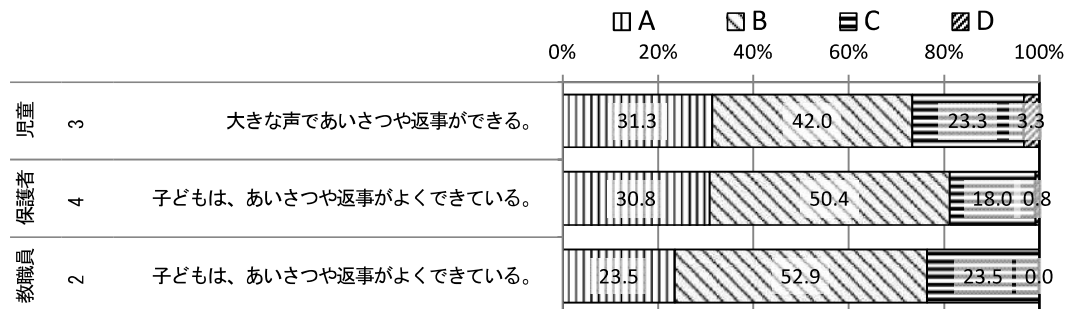
## 1



「学校に行くことが楽しいか」という最も重要視される質問に対して昨年度以上の結果が表れた。実際、学校は児童にとって楽しいことも苦しいことも混在しているというのが正しく、成長のためにストレスがかかる場所でもあると思われるが、それでも友達と関わり合いながら活動する児童の笑顔もよく見られる。一生懸命がんばることが好きな児童をこれからも育てていきたい。

類	No	診断内容	A	B	C	D
児童	3	大きな声であいさつや返事ができる。	31.3	42.0	23.3	3.3
保護者	4	子どもは、あいさつや返事がよくできている。	30.8	50.4	18.0	0.8
教職員	2	子どもは、あいさつや返事がよくできている。	23.5	52.9	23.5	0.0

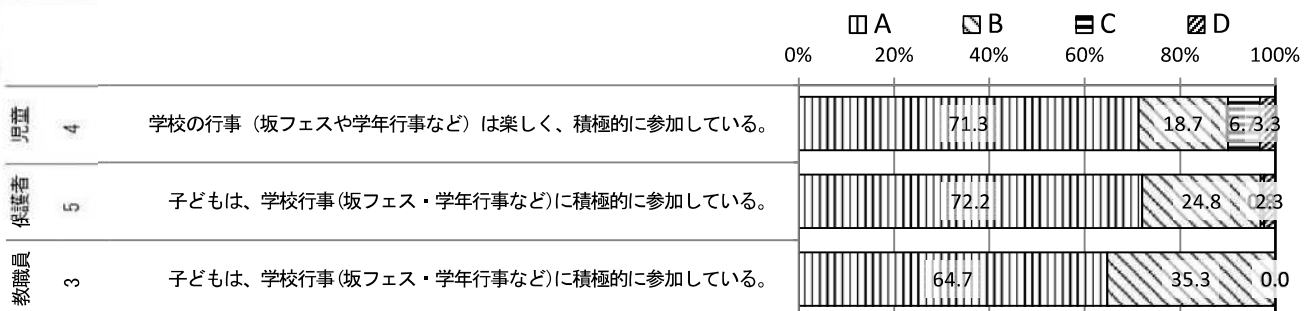
## 2



児童(昨年度70%)保護者(昨年度79%)はともに若干の上向きが見られた。毎朝、代表委員会主導のあいさつ運動が展開されており、子どもたちの意識も高まってきていると感じる。来校者の子どもたちに対する印象は決して悪くないが、あいさつの大切さを継続して伝えながら、よい文化、伝統となるよう雰囲気づくりに努めたい。

類	No	診断内容	A	B	C	D
児童	4	学校の行事(坂フェスや学年行事など)は楽しく、積極的に参加している。	71.3	18.7	6.7	3.3
保護者	5	子どもは、学校行事(坂フェス・学年行事など)に積極的に参加している。	72.2	24.8	0.8	2.3
教職員	3	子どもは、学校行事(坂フェス・学年行事など)に積極的に参加している。	64.7	35.3	0.0	0.0

## 3

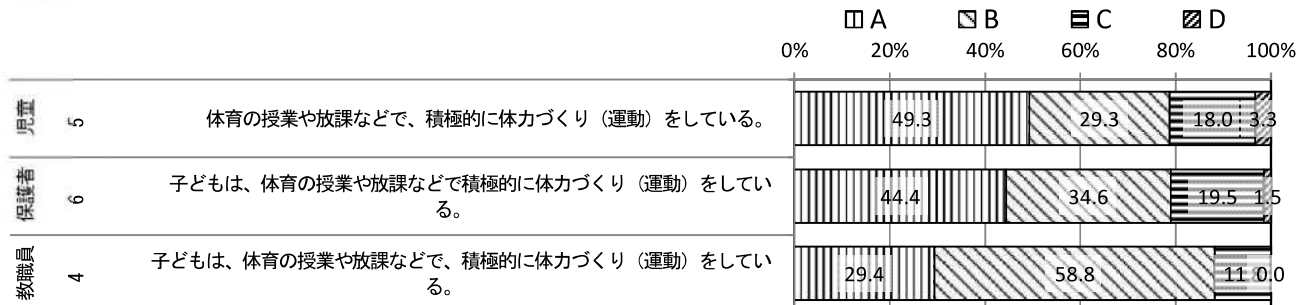


児童、保護者の回答がともに90%を超えたのは初のことである。日々の生活が大切なのはもちろんだが、行事を通じて気づくこと、学ぶことが確かにあり、その達成感はいよい思い出となり、次につながっていく。「がんばることってよいことだ」「努力をして目標を達成したい」という思いを多くの子どもたちがもてるような指導を心がけていきたい。

## 学校教育活動の評価比較

類	No	診断内容	A	B	C	D
児童	5	体育の授業や放課などで、積極的に体力づくり(運動)をしている。	49.3	29.3	18.0	3.3
保護者	6	子どもは、体育の授業や放課などで積極的に体力づくり(運動)をしている。	44.4	34.6	19.5	1.5
教職員	4	子どもは、体育の授業や放課などで、積極的に体力づくり(運動)をしている。	29.4	58.8	11.8	0.0

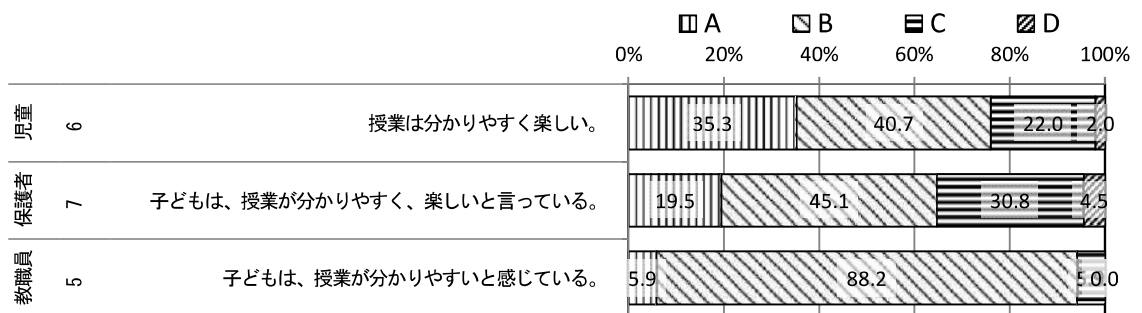
# 4



「積極的にしている」の回答が、児童は79%で昨年並み。保護者は79%、教職員は88%で微増であった。放課に外で元氣よく遊ぶ児童もよく見られ、12月のマラソン大会でも自分の目標達成に向けての取組がよくできていた。二学期終業式内の児童の振り返りでは、6年男児が自分の目標達成のために1年間走り続けているとを発表した。個人的にたいへん感動した。

類	No	診断内容	A	B	C	D
児童	6	授業は分かりやすく楽しい。	35.3	40.7	22.0	2.0
保護者	7	子どもは、授業が分かりやすく、楽しいと言っている。	19.5	45.1	30.8	4.5
教職員	5	子どもは、授業が分かりやすいと感じている。	5.9	88.2	5.9	0.0

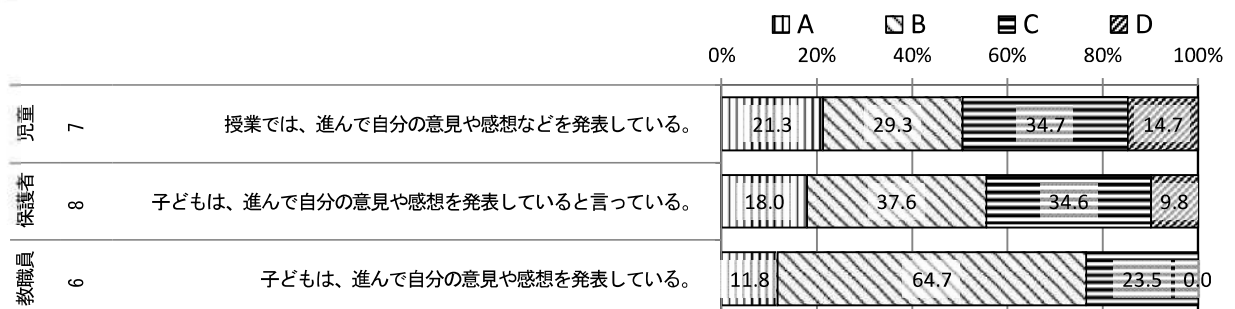
# 5



76%の児童が「分かりやすく楽しい」と答えている。昨年度より8%減少で、保護者は約65%で4%減少である。授業については、伝え合いに重きを置いたり、タブレット端末を利用したりなどの工夫をしながら、全員参加を常に目指している。子どもの様子に注視しながら、今後一層楽しくて分かりやすい授業づくりをしていきたい。

類	No	診断内容	A	B	C	D
児童	7	授業では、進んで自分の意見や感想などを発表している。	21.3	29.3	34.7	14.7
保護者	8	子どもは、進んで自分の意見や感想を発表していると言っている。	18.0	37.6	34.6	9.8
教職員	6	子どもは、進んで自分の意見や感想を発表している。	11.8	64.7	23.5	0.0

# 6

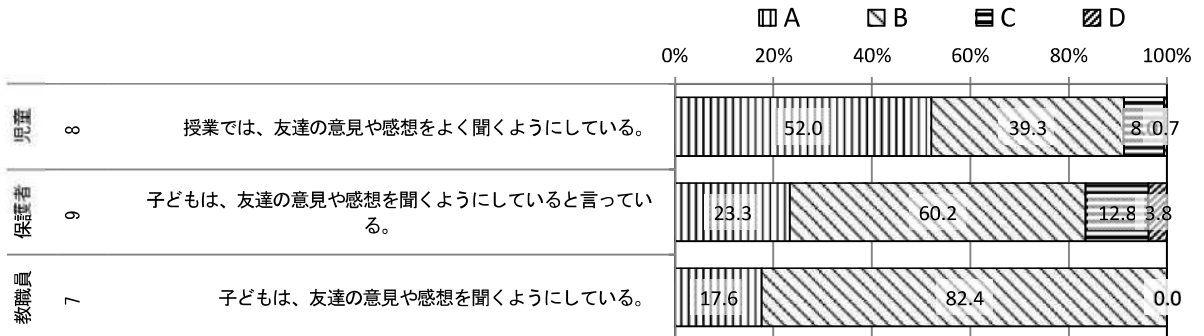


「進んで発言している」と答えた児童は51%で、昨年度から微減であった。保護者は56%で微増ある。児童が進んで発言したくなる発問の工夫をすること、何よりどのような発言も温かく受け入れ、発言してよかったと思える学級の雰囲気づくりを大切にしていきたい。

## 学校教育活動の評価比較

類	No	診断内容	A	B	C	D
児童	8	授業では、友達の意見や感想をよく聞くようにしている。	52.0	39.3	8.0	0.7
保護者	9	子どもは、友達の意見や感想を聞くようにしていると言っている。	23.3	60.2	12.8	3.8
教職員	7	子どもは、友達の意見や感想を聞くようにしている。	17.6	82.4	0.0	0.0

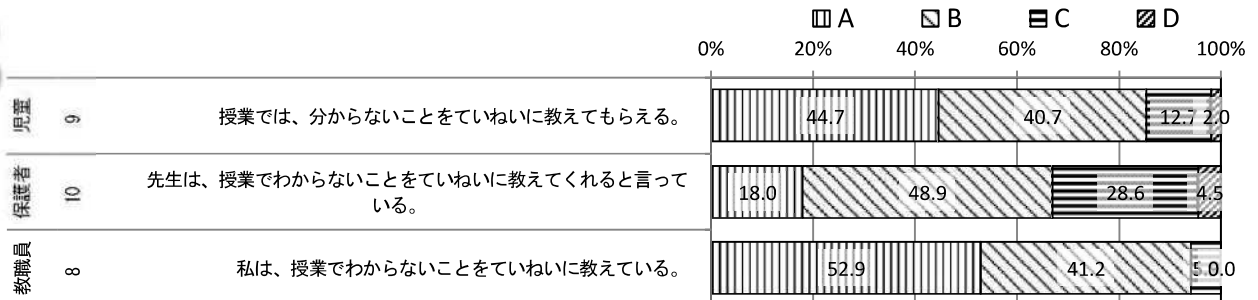
# 7



91%の児童が「友達の意見や感想をよく聞くようにしている」と答えた。昨年度より4%増加している。伝え合いを推奨する上で、しっかり話を聞く姿勢は徹底させたいので、嬉しい評価である。保護者や教職員の回答とには若干のずれがあるが、授業のみならず、全校朝会や集会の場、朝夕の会等、様々な場面でしっかり話が聴けるよう、継続して指導をしていきたい。

類	No	診断内容	A	B	C	D
児童	9	授業では、分からないことをていねいに教えてもらえる。	44.7	40.7	12.7	2.0
保護者	10	先生は、授業でわからないことをていねいに教えてくれると言っている。	18.0	48.9	28.6	4.5
教職員	8	私は、授業でわからないことをていねいに教えている。	52.9	41.2	5.9	0.0

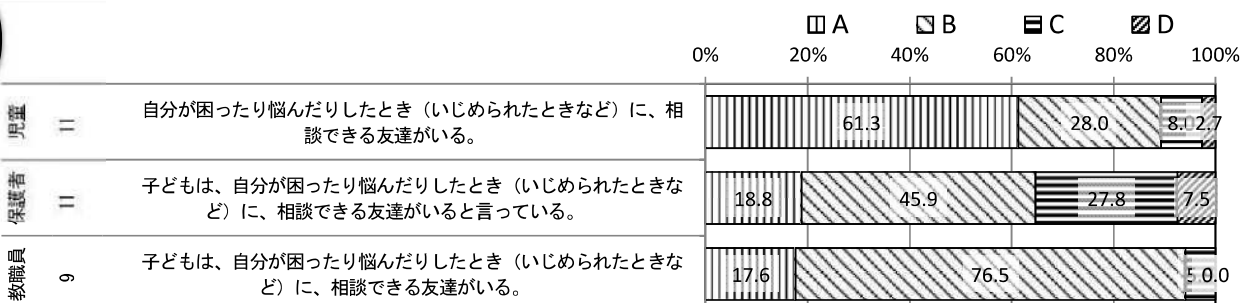
# 8



85%の児童が「分からないことをていねいに教えてもらえる」と答えた。昨年度並みの結果である。保護者は67%で5%減少である。今後も子どもたち一人一人に目を向け、「わかる」「できる」を味わえるよう子どもの思いに寄り添った指導をしたい。

類	No	診断内容	A	B	C	D
児童	11	自分が困ったり悩んだりしたとき(いじめられたときなど)に、相談できる友達がいる。	61.3	28.0	8.0	2.7
保護者	11	子どもは、自分が困ったり悩んだりしたとき(いじめられたときなど)に、相談できる友達がいると言っている。	18.8	45.9	27.8	7.5
教職員	9	子どもは、自分が困ったり悩んだりしたとき(いじめられたときなど)に、相談できる友達がいる。	17.6	76.5	5.9	0.0

# 9

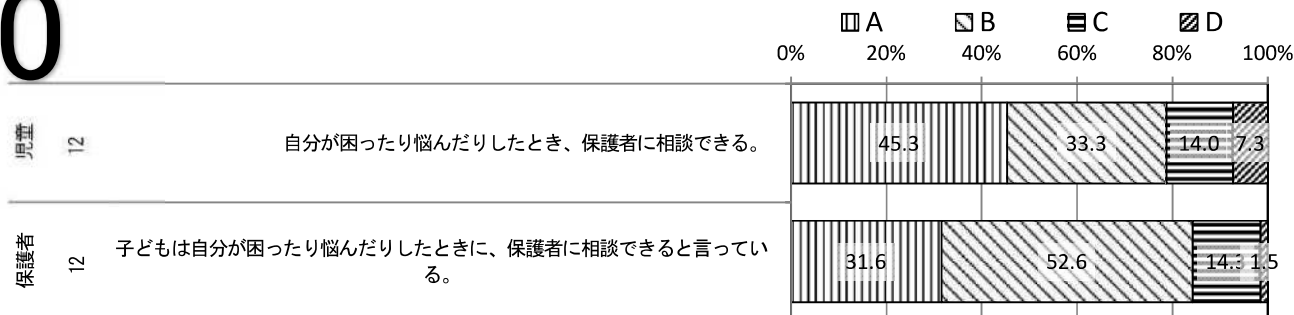


89%の児童が「相談できる友達がいる」と答えた。昨年度より12%の大幅な増加が見られた。保護者は65%で、こちらは変わっていない。教職員は94%で、昨年より8%増加している。児童の残りの11%に目を向けた指導が何よりも大切である。これからも、子どもたちの良好な関係づくりに努めていきたい。

## 学校教育活動の評価比較

類	No	診断内容	A	B	C	D
児童	12	自分が困ったり悩んだりしたとき、保護者に相談できる。	45.3	33.3	14.0	7.3
保護者	12	子どもは自分が困ったり悩んだりしたときに、保護者に相談できると言っている。	31.6	52.6	14.3	1.5

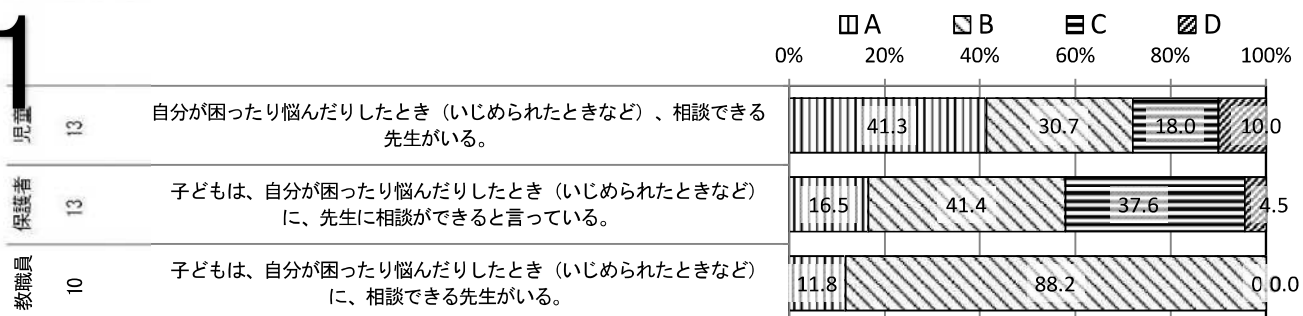
# 10



相談できるという回答が79%、相談してもらえが約84%で、どちらも前回よりも3%程の増加であった。「十分にあてはまる」の回答にやや差があるが、悩みを抱えた子どもにとって保護者の存在の重要性がうかがえる。親子のコミュニケーションを大切にしながら、学校でも支援をしていきたい。

類	No	診断内容	A	B	C	D
児童	13	自分が困ったり悩んだりしたとき(いじめられたときなど)、相談できる先生がいる。	41.3	30.7	18.0	10.0
保護者	13	子どもは、自分が困ったり悩んだりしたとき(いじめられたときなど)に、先生に相談ができると言っている。	16.5	41.4	37.6	4.5
教職員	10	子どもは、自分が困ったり悩んだりしたとき(いじめられたときなど)に、相談できる先生がいる。	11.8	88.2	0.0	0.0

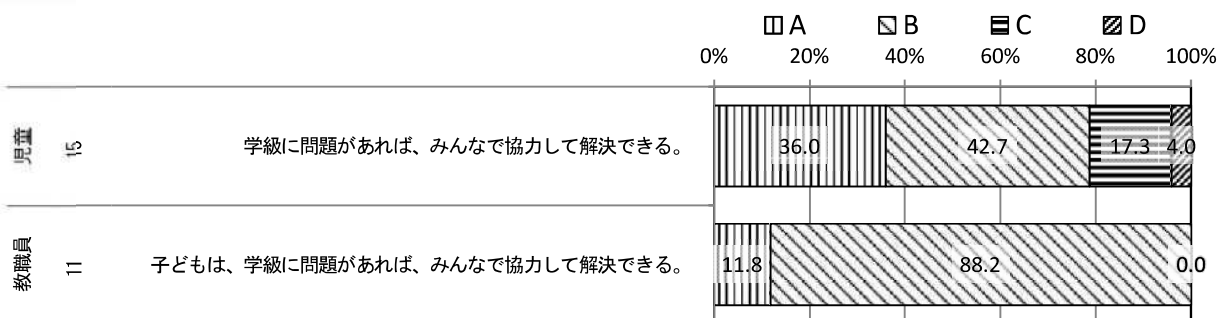
# 11



約72%の児童が「相談できる先生がいる」と答え、昨年度より7%増加した。保護者は58%で微増。児童の「あてはまらない」という回答28%(昨年度は36%)を真摯に受け止め、子どもたちが心を開いて、教職員に安心して相談できるような関係づくりに努めたい。

類	No	診断内容	A	B	C	D
児童	15	学級に問題があれば、みんなで協力して解決できる。	36.0	42.7	17.3	4.0
教職員	11	子どもは、学級に問題があれば、みんなで協力して解決できる。	11.8	88.2	0.0	0.0

# 12

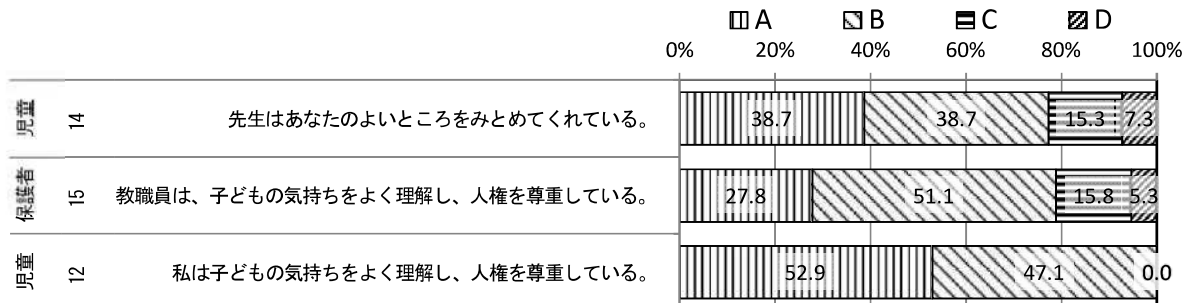


79%の児童が「みんなで協力して解決できる」と答えた。昨年度よりわずかに微増である。教職員は100%で、昨年度より大きく増加している。学級活動などで学級の諸問題を子どもたち主体で話し合い、解決のための具体的な計画を立て、実行に移していることが、この結果に結びついていると感じる。今後も子ども同士の自治意識を高められるよう、よりよい学級づくりに努めていきたい。

## 学校教育活動の評価比較

類	No	診断内容	A	B	C	D
児童	14	先生はあなたのよいところをみとめてくれている。	38.7	38.7	15.3	7.3
保護者	15	教職員は、子どもの気持ちをよく理解し、人権を尊重している。	27.8	51.1	15.8	5.3
教職員	12	私は子どもの気持ちをよく理解し、人権を尊重している。	52.9	47.1	0.0	0.0

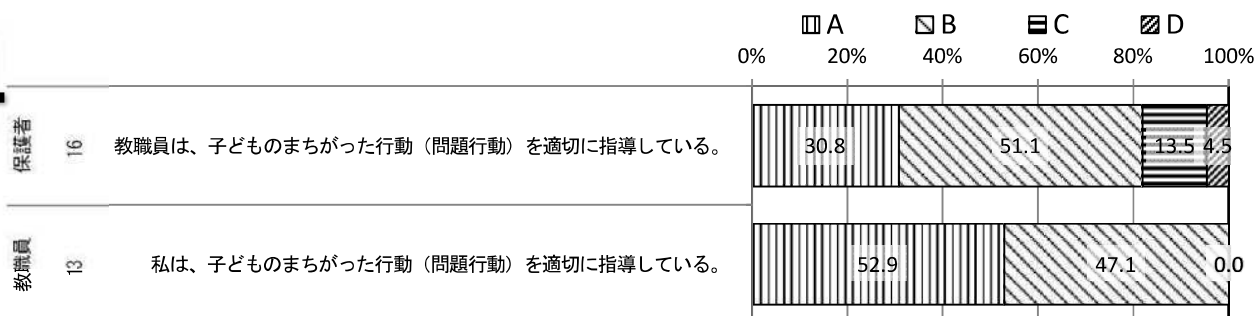
# 13



「先生は自分のよいところを認めてくれる」と回答した児童は77%、保護者は79%で、昨年度より数%減少した。子どもの自己肯定感を高めることは、学校において極めて重要である。子どものよさに気づき、励まし、伸ばしていける教職員でありたい。

類	No	診断内容	A	B	C	D
保護者	16	教職員は、子どものまちがった行動(問題行動)を適切に指導している。	30.8	51.1	13.5	4.5
教職員	13	私は、子どものまちがった行動(問題行動)を適切に指導している。	52.9	47.1	0.0	0.0

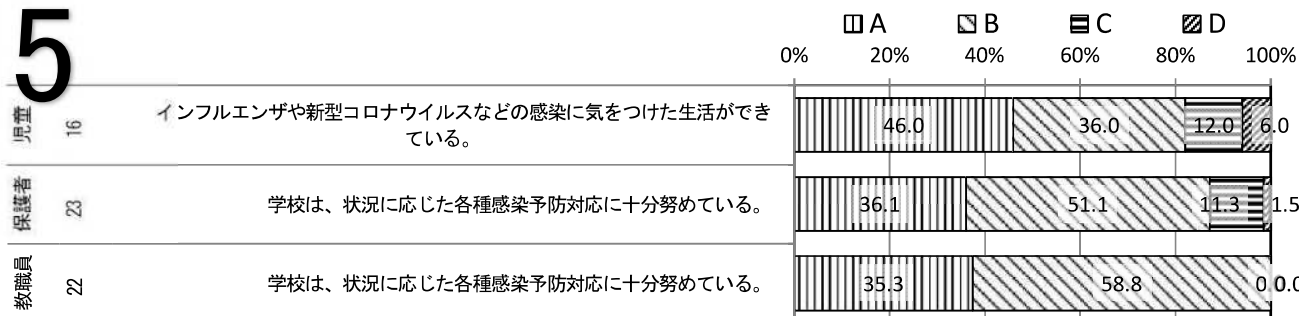
# 14



約82%の保護者が「適切に指導している」と答え、結果は昨年度よりも6%減少であった。指導の意図がきちんと伝わるように、今後も子どもの行動をよく把握し、適切に指導できるように努めていきたい。

児童	16	インフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染に気がつけた生活ができている。	46.0	36.0	12.0	6.0
保護者	23	学校は、状況に応じた各種感染予防対応に十分努めている。	36.1	51.1	11.3	1.5
教職員	22	学校は、状況に応じた各種感染予防対応に十分努めている。	35.3	58.8	0.0	0.0

# 15

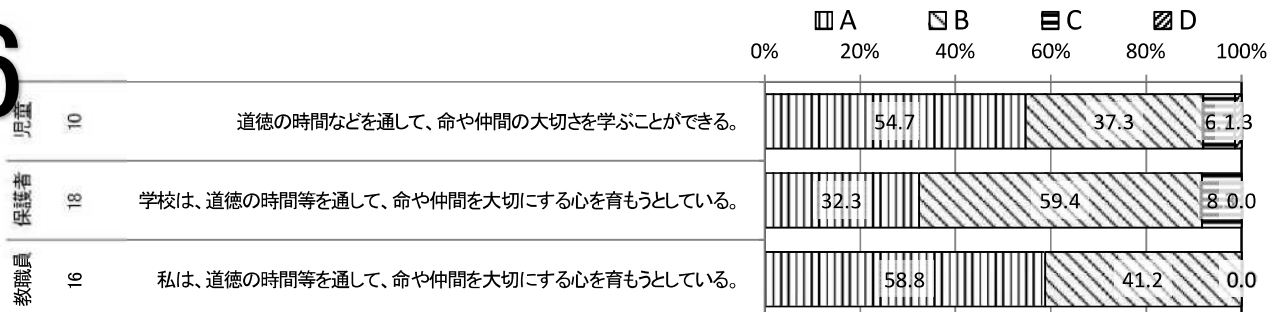


児童の82%、保護者の87%が「感染に気がつけた生活ができている」「学校は感染予防対応に努めている」と答えた。どちらの意識も昨年度より高まっているが、保健委員会や教職員の呼びかけの成果と考える。今後も対策をしっかりととりながら、学校生活の保障をしていきたい。

## 学校教育活動の評価比較

類	No	診断内容	A	B	C	D
児童	10	道徳の時間などを通して、命や仲間の大切さを学ぶことができる。	54.7	37.3	6.7	1.3
保護者	18	学校は、道徳の時間等を通して、命や仲間を大切にすることを育もうとしている。	32.3	59.4	8.3	0.0
教職員	16	私は、道徳の時間等を通して、命や仲間を大切にすることを育もうとしている。	58.8	41.2	0.0	0.0

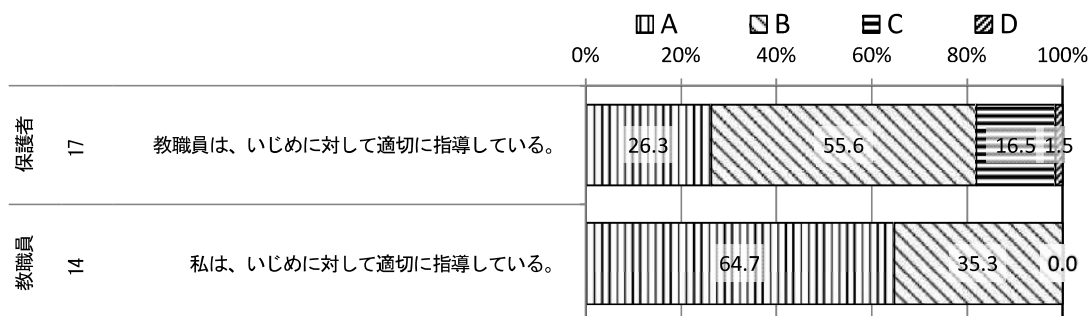
# 16



児童、保護者ともに92%が「適切に指導している」と回答した。昨年度(児童83%・保護者89%)より増加である。道徳の指導がより充実されるよう、教員の力量向上に努めるとともに、学校生活全般で、道徳教育に一層力を入れていきたい。

類	No	診断内容	A	B	C	D
保護者	17	教職員は、いじめに対して適切に指導している。	26.3	55.6	16.5	1.5
教職員	14	私は、いじめに対して適切に指導している。	64.7	35.3	0.0	0.0

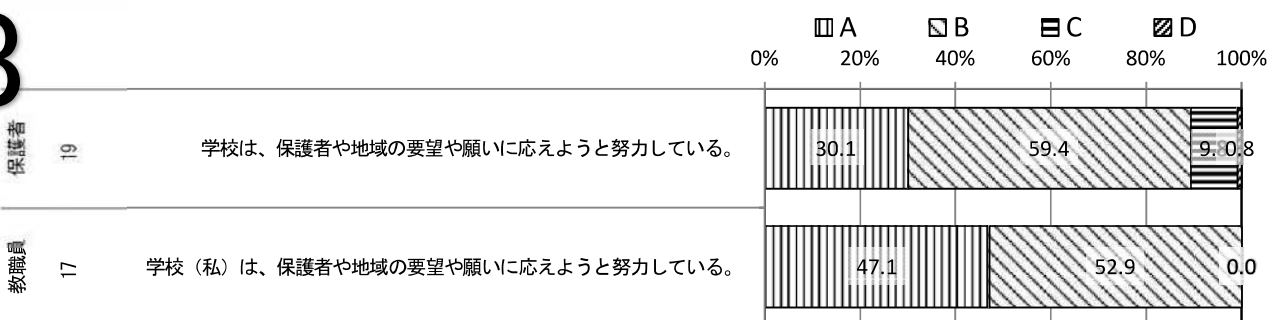
# 17



約82%の保護者が「適切に指導している」と答えた。昨年度より2%減少である。学校においては、今後もちろん「いじめは絶対に許さない」「いじめは決して起こさせない」を強く意識し、児童の普段の様子を把握したり、児童アンケートを活用したりして適切に指導していきたい。

類	No	診断内容	A	B	C	D
保護者	19	学校は、保護者や地域の要望や願いに応えようと努力している。	30.1	59.4	9.8	0.8
教職員	17	学校(私)は、保護者や地域の要望や願いに応えようと努力している。	47.1	52.9	0.0	0.0

# 18

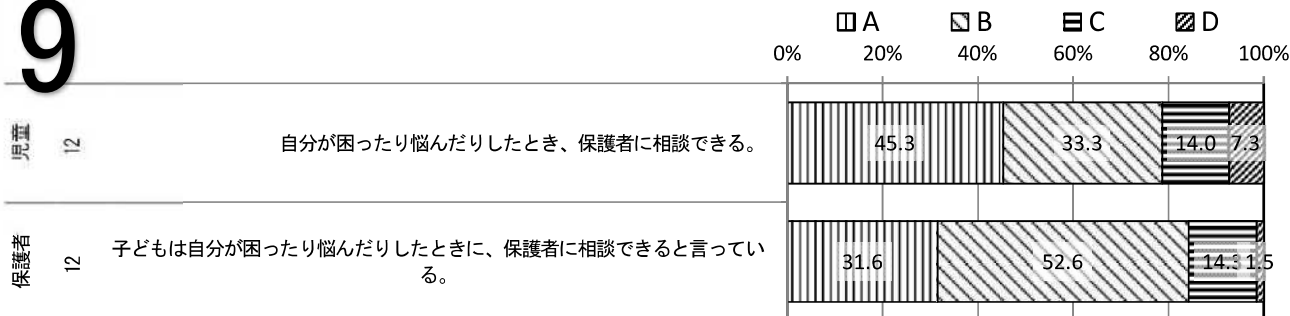


保護者は90%、教職員は100%が「要望や願いに応えようとしている」と答えた。高い評価を頂いていることを励みにしながら、今後も保護者や地域の声を真摯に受け止め、よりよい学校づくりに努めていきたい。

## 学校教育活動の評価比較

類	No	診断内容	A	B	C	D
保護者	20	学校は、子どもが学習しやすい環境づくりに努めている。	36.1	55.6	8.3	0.0
教職員	19	学校(私)は、子どもが学習しやすい環境づくりに努めている。	41.2	52.9	5.9	0.0

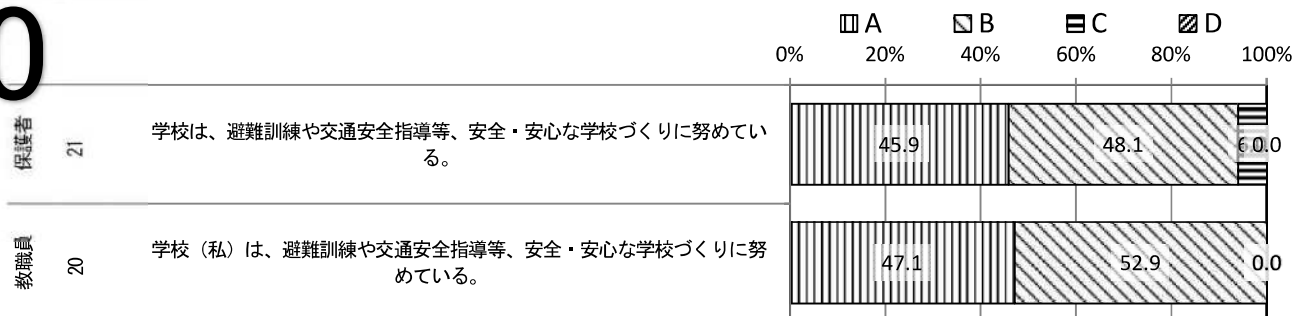
# 19



92%の保護者が「学習しやすい環境づくりに努めている」と答えた。昨年度より5%増加である。これには、落ち着いた雰囲気に加えて、安全・安心面における信頼も含まれていると感じる。今後も危機管理や安全教育に力を入れ、子どもたちの安全を考えた学校づくりに努めていきたい。

類	No	診断内容	A	B	C	D
保護者	21	学校は、避難訓練や交通安全指導等、安全・安心な学校づくりに努めている。	45.9	48.1	6.0	0.0
教職員	20	学校(私)は、避難訓練や交通安全指導等、安全・安心な学校づくりに努めている。	47.1	52.9	0.0	0.0

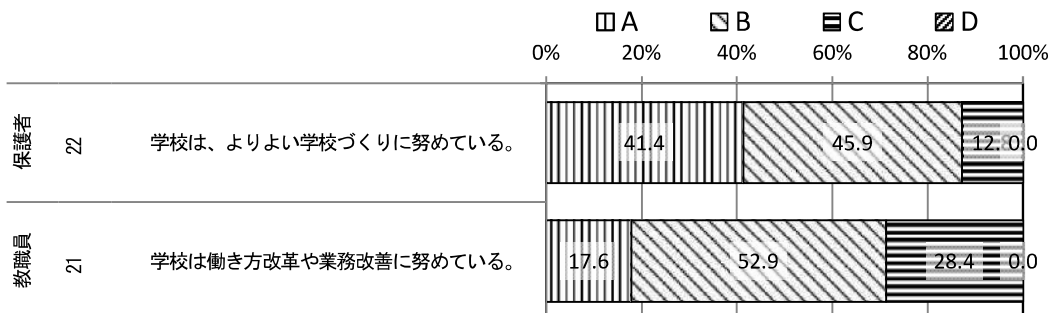
# 20



94%の保護者が「安心・安全な学校づくりに努めている」と答えた。今後も危機管理や安全教育に力を入れ、子どもたちの安全を考えた学校づくりに努めていきたい。

類	No	診断内容	A	B	C	D
保護者	22	学校は、よりよい学校づくりに努めている。	41.4	45.9	12.8	0.0
教職員	21	学校は働き方改革や業務改善に努めている。	17.6	52.9	28.4	0.0

# 21

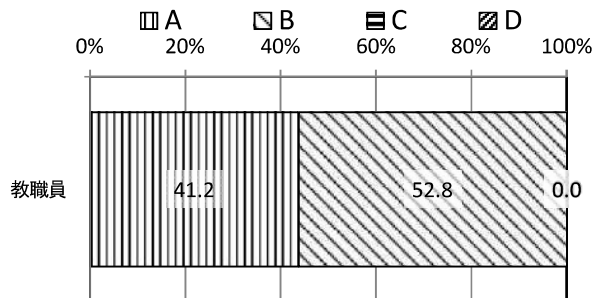


約87%の保護者が「よりよい学校づくりに努めている」と答えた。この質問の始まった6年前から続けて、高い支持をいただいている。教職員の働き方改革に関する意識は少しずつ上昇は見られるが、まだまだ自身の改革や業務改善が整っていないと感じているようである。多忙化解消をすることで、教職員がいつも元気に子どもたちへの指導ができるにしていきたい。

## 学校教育活動の評価比較

類	No	診断内容	A	B	C	D
教職員	15	私には、自分の悩みや相談を聞いてくれる上司、同僚がいる。	41.2	52.8	0.0	0.0

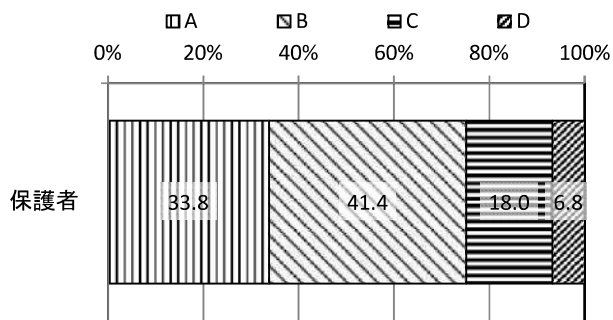
# 22



「悩みや相談を聞いてくれる上司、同僚がいる」の回答は100%であった。風通しのよい環境をつくるのが、教職員の心身の健康につながり、子どもへの適切な指導につながると考えられる。お互いが気軽に声をかけられる職場づくりに努めていきたい。

類	No	診断内容	A	B	C	D
保護者	3	子どもは、毎日学校での出来事を話す。	33.8	41.4	18.0	6.8

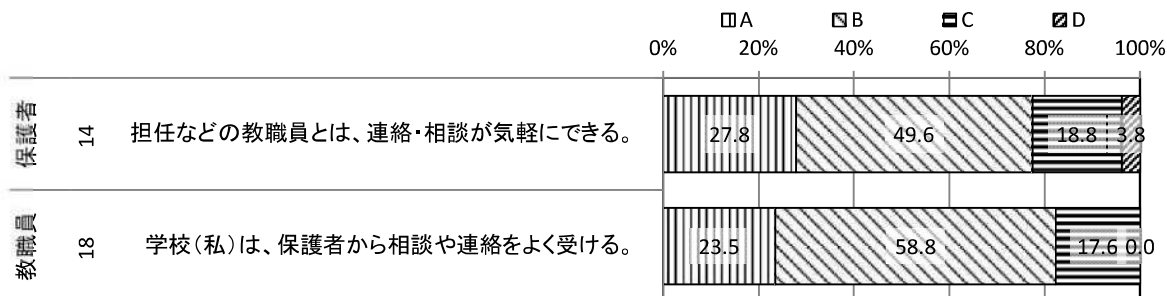
# 23



毎日学校での出来事を話すという回答がおよそ75%で、昨年度より2%増加した。親子のコミュニケーションを図るとともに、学校のことを知っていただくことが、健全な子どもの育成には必要と考える。子どもが話をしたくなる魅力ある学校づくりに努めていきたい。

類	No	診断内容	A	B	C	D
保護者	14	担任などの教職員とは、連絡・相談が気軽にできる。	27.8	49.6	18.8	3.8
教職員	18	学校(私)は、保護者から相談や連絡をよく受ける。	23.5	58.8	17.6	0.0

# 24

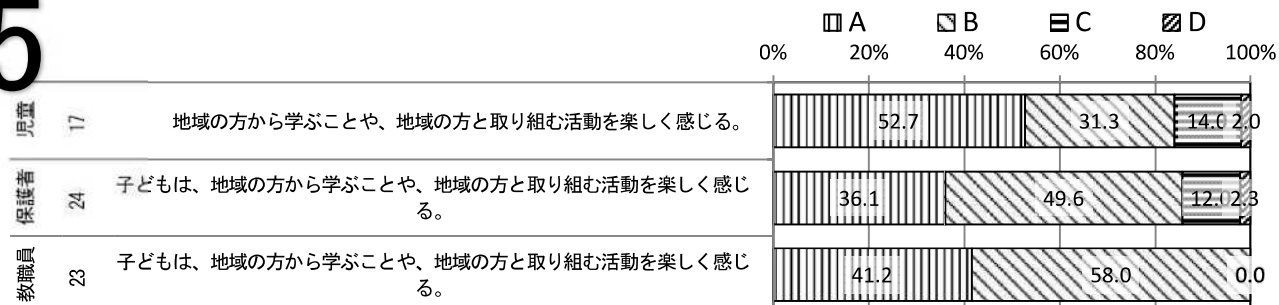


保護者の約77%が「気軽に相談できる」と回答、昨年度よりも2%増加であった。子どもの健やかな成長のためには学校と家庭の連携は不可欠である。良好な関係づくりとその継続に努めていきたい。

## 学校教育活動の評価比較

類	No	診断内容	A	B	C	D
児童	17	地域の方から学ぶことや、地域の方と取り組む活動を楽しく感じる。	52.7	31.3	14.0	2.0
保護者	24	子どもは、地域の方から学ぶことや、地域の方と取り組む活動を楽しく感じる。	36.1	49.6	12.0	2.3
教職員	23	子どもは、地域の方から学ぶことや、地域の方と取り組む活動を楽しく感じる。	41.2	58.0	0.0	0.0

# 25



昨年度から取り入れられた質問事項である。児童の84%が「地域の方とのかかわり」を楽しいと感じており、昨年度より6%増加した。本校は、以前から地域交流がさかんで、多くの方が講師を務めてくださっていることをありがたく感じる。保護者、教職員の回答からも高い支持がうかがえる。